

## 1 交流活動（体験活動、他教科・他領域等との関連付け）

### (1) 英語で伝え合う体験の場づくり

#### ○英語劇への取組（6年生）

英語ノートに英語劇が取り扱われていることから、本校でも地域の特色を盛り込んだオリジナルの英語劇に取り組んでいる。



平成19年度は「町のネズミといなかのネズミ」の話を基に、山本とニューヨークに住むネズミとの交流劇を、また本年度は、昔話の「桃太郎」をアレンジした「スイカ太郎」に取り組んでいる。

これまで学習した英語を使い、表現方法を工夫しながら、学級全体で協力して劇に取り組むことにより、自己肯定感や他者理解が高まる。

#### 【取組の手順】＊以下は、児童の活動手順。

- 1 英語劇の基になる話を昔話や童話などから選択する。
- 2 選択した話を模して、児童が台本を地域の特色等を織り交ぜながら、日本語で作成する。その際、グループごとに1場面ずつ担当し、全員参加の形式を採る。  
＊教師は、既習表現をできる限り取り入れるように指示する。  
(英語ノート・振り返りシート等の活用)
- 3 台本中の未習の言葉を児童用和英辞典で調べる。
- 4 児童が調べた表現等を極力生かしながら、教職員（地域人材でも可。）が英語の台本にまとめる。
- 5 教職員等は、ボイスレコーダーに台本を英語で集録し、児童が必要に応じていつでも英語にふれることができるようにする。
- 6 小道具・大道具作成に当たっては、図画工作等他教科との関連を図ることができる部分があれば、活用する。
- 7 場面背景は、ICT等を活用し、大道具等の作成の手間を省く。
- 8 授業参観や学習発表会で練習の成果を披露する。
- 9 取組について振り返りシートに記入し、校内に掲示する。

また、劇中に町や校区の自然の豊かさや史跡のすばらしさなど、ふるさとのよさを取り入れるように工夫することにより、ふるさとへの一層の理解が期待できる。

上演の際には、低学年用にスクリーンに字幕を写すことも可能であるが、劇そのものに集中できにくくなるため、字幕なしにし、低学年にも理解してもらえようジェスチャーや表情、道具等を工夫する方がよいようである。英語劇は、参観者に何とか想いを伝えようという児童を結実させることができ、コミュニケーションへの態度づくりに役だつ取組である。

#### ○植木町の紹介「植木町を英語で紹介しよう」（5年生）

1年間の学校行事や、稲作、スイカ栽培、城ノ越太鼓、栗ひろい等の体験活動、植木町や山本地区のよさを児童の目線で映像（パワーポイント）にまとめ、英語で紹介した。ジェスチャーや表情を工夫して、発音に留意し、ICTを活用しながら、堂々とした態度で地域を見つめた発表を行うことができ、子どもたちは達成感を味わうことができた。

【作成したプレゼンテーションの一部】



【取組の手順】 \* 以下は、児童の活動手順。

- 1 活動計画表に従って、主な学校行事等について調べる。 ※実施日、行事名、参加者、主な内容など。
- 2 年間行事についてのコメントを考える。  
\* 教師は、既習表現をできる限り取り入れるように指示する。(英語ノート・振り返りシート等の活用)
- 3 未習の言葉や表現を児童用和英辞典で調べる。
- 4 児童が調べた表現等を極力生かしながら、教職員(地域人材でも可。)が英語でまとめる。
- 5 教職員等が、ボイスレコーダーに英語で発音モデルを集録し、児童が必要に応じていつでも英語にふれることができるようにする。
- 6 ジェスチャーや表情など表現方法を工夫する。
- 7 児童集会や授業参観等で練習の成果を披露する。
- 8 取組について振り返りシートに記入し、校内に掲示する。

(2) 児童会活動との連携(放送委員会活動)

朝の校内放送を日本語と英語の二カ国語で放送したり、英語の曲を流したりすることで、日常的に英語に慣れ親しめるように工夫した。

【校内放送の例】

英 語	日 本 語
(ア) Good morning, friends!	(ア) みなさん、おはようございます。
(イ) Today is (曜日), (月日).	(イ) 今日は〇月〇日〇曜日です。
(ウ) Volunteer Activity Time is going to start soon.	(ウ) 朝のボランティアタイムが始まります。
(エ) Let's enjoy "Volunteer Activity" together.	(エ) みんなで気持ちよくボランティアをしましょう。

(3) 単元構成の工夫(他教科・他領域との関連の洗い出し)

他教科・他領域や本校の行事等との関連を洗い出し、国際フェスティバルを年度当初に位置付けたことで、英語活動に計画的に取り組むことができた。

【平成20年度英語活動年間計画(5年生:50時間)】

月	時等	1単位時間 (37単位時間)	モジュール26回(13単位時間)	他教科・他領域等との関連事項
4月	あいさつ	【その友達は、誰?】 2時間 1~4年で学習したあいさつ表現 I'm fine. (O.K, so-so, good, tired) What's your name? My name is ~. Have a nice day. How old are you? I'm ~ years old.等	○「Hello Friends 1&2」 ○あいさつ(既習セテンスの復習) ○英語名札の作成(ローマ字) ★今月の歌 "The Hello Song" 2回(1単位時間)	国語「会話をはずませよう」(6月) 道徳「オーストラリアで学んだこと」(2月) 算数「式と計算」(10月)
5月	数	【Let's enjoy numbers!】 2時間 数字100~1000 たし算・ひき算など plus, minus, equal など 「Hello Friends 10」	○100までの数字の復習 Bingo ゲーム等 ★今月の歌 "If You're Happy" 2回(1単位時間)	図工「きょうかしよびじゅつかん」(12月) 道徳「エリデラの空」(10月) 総合的な学習の時間「田植え」
6月	色や形 世界	【世界に1つの旗】 3時間 What color do you like? I like ~. I want to go to ~. Is it red? Yes, it is. This is my flag. 国際フェスティバル 2時間	○既習事項の復習(色) カルタゲーム等 ○オリジナルフラッグ製作 ★今月の歌 "Colors" 2回(1単位時間)	年間計画の中に、他教科・領域との関連事項を明確に位置付ける。

#### (4) 外国の方々とのおしあわせ体験の場づくり

##### ○アメリカジョージア州ローム市訪問団との交流会の開催

植木町の姉妹都市のローム市から17名のゲストを迎え、交流会やふれあい遊び等の活動を実施した。ゲストとダンスを踊ったり、じゃんけん列車を行う中で、自然に会話を交わし、伝え合う喜びを感じることができた。

\*企画する際には、町・市の関係課や国際協会等に外国からの訪問予定等を問い合わせ、日程調整等を行う。

##### ○やまもと国際フェスティバルの開催

(平成19・20年度それぞれに実施)

〈目的〉国際理解活動の一環として、外国の方とふれ合い、学んだことを生かして進んでコミュニケーションを図り、相互の文化や生活様式等についての理解を深める。

\*企画する際には、町・市の関係課や国際協会、ALT等との連携を図ったり、地域人材リストを活用したりする。

\*企画書については、別紙参照。

\*訪問者のために、校内案内図、日程表の英語版を用意する。

#### 〈一年次の取組の概要〉

・町の小学校専属ALTの他、8カ国から10名のゲストが招へいた。ゲストの国について話を聞いたり、一緒に餅つきをしたりするなど、相互に文化を紹介し合う場を設けることができた。

・コミュニケーションタイム、ランチタイム、ふれあい遊びタイム、餅つきの日程で実施した。司会も児童が行い、表現の場とした。

・コミュニケーションタイムは、ワークショップ形式で1～6年の縦割り班(10班各10名)で活動した。班ごとに各ゲストを訪問し、自己紹介後にゲストの話聞き、質問やその国のゲーム等を楽しんだ。

・実施後の児童感想に「外国に行ってみたくと思った。」「初めてわかったことがたくさんあった。」「恥ずかしがらずに、もっと会話ができるようになりたい。」等の記述が多く見られ、興味や関心の高まりが感じられた。



【コミュニケーションタイム】



【餅つき】

山本君の初めての国際フェスティバルで、あつ国の人と対話したり遊んだりできるのがとても嬉しかった。自分たちから話しかけたらどんどん話も合っていたので楽しかった。もともと先生の国の人と交流してどんどん仲良くなりたい。

【平成19年度 6年児童の感想】

#### 〈二年次の取組の概要〉

・尋ねてみたいことや使ってみてみたい言葉等、自分なりのめあてを持って、活動に取り組みさせた。二年次は、学級ごとに活動するコミュニケーションタイム2の時間を午後の時間帯に新たに設定した。

〈コミュニケーションタイム2の活動例〉

1年：伝承遊び、2年：七夕飾り作り、3・4年：英語でクイズ大会、5年：日本の昔遊び、6年：書道

尋ねたいこと等を聞くために、自ら進んでコミュニケーションを図ろうとする児童の姿が多く見られた。活動や遊びをとおして、実際にふれ合う中で、子どもたちは他国文化や自国文化に自然に親しみ、もっと自己表現できるようになりたいという意欲をもった。

【コミュニケーションタイム1】



時間を区切って、いろいろな国のコーナーに行きました。初めてのお話ばかりでうれしいなあ。



【コミュニケーションタイム2】

## やまもとインターナショナルフェスティバルについて(企画書)

- 1 目的**  
 国際理解活動の一環として、外国の方とふれ合い、学んだことを生かして進んでコミュニケーションを図り、相互の文化や生活様式等についての理解を深める。  
 また、一緒に活動する中で、日本文化を紹介する場も設ける。
- 2 期日**  
 平成 年 月 日( ) 3~5校時 10:50~15:00  
 (受付・打合せ…10:00~11:20、準備…朝ポランテアと10:20~10:40)
- 3 場所**  
 打合せ…校長室、休憩…児童会室、コミュニケーションタイム等…体育館、各教室
- 4 日程・内容**
  - (1) 開会行事**  
 10:50 はじめの言葉 (司会:児童 ) (縦割り班でステージを正面にして並ぶ。)  
 10:51 校歌斉唱 ( 先生 )  
 10:53 ゲスト紹介 ( 先生 )  
 11:05 英語の歌 ( 先生 )
  - (2) コミュニケーションタイム**  
 ①11:10~11:22 班ごとに各チームを訪問し、あいさつ・自己紹介をし、ゲストの話(2~3分程度)を聞く。その後、質疑やその国のゲーム等をやる。(12分で交替)
    - ②11:23~11:35
    - ③11:36~11:48
    - ④11:49~12:01
 感想発表(各学年1名程度)・お礼の言葉(6年 )・贈辞・終わりの言葉
  - (3) 給食**  
 12:15~12:25 アンケート感想を書く。(ゲストの方は、図書室で休憩。)  
 12:25~13:10 ゲストの方は、各教室で児童とともに給食。
  - (4) 昼休み**  
 13:10~14:00 ゲストの皆さんを誘って自由に遊ぶ。(クラス単位で)(この時間帯に、席のまや席りの用意をさせておく。ゲストの方には、いってもらってもいいし、はやめに休憩をとっていただくことも可。)
  - (5) 休憩**  
 14:00~14:10 ゲストの皆さんは、図書室で休憩。(児童は、簡単掃除)
  - (6) コミュニケーションタイム Part2**  
 ゲストの皆さんと、各クラスで、活動。(太鼓、日本の遊び、折り紙、書道、体育…)  
 \*各クラスで、児童会室へ、見送りをする。
  - (7) 一斉下校**  
 15:00

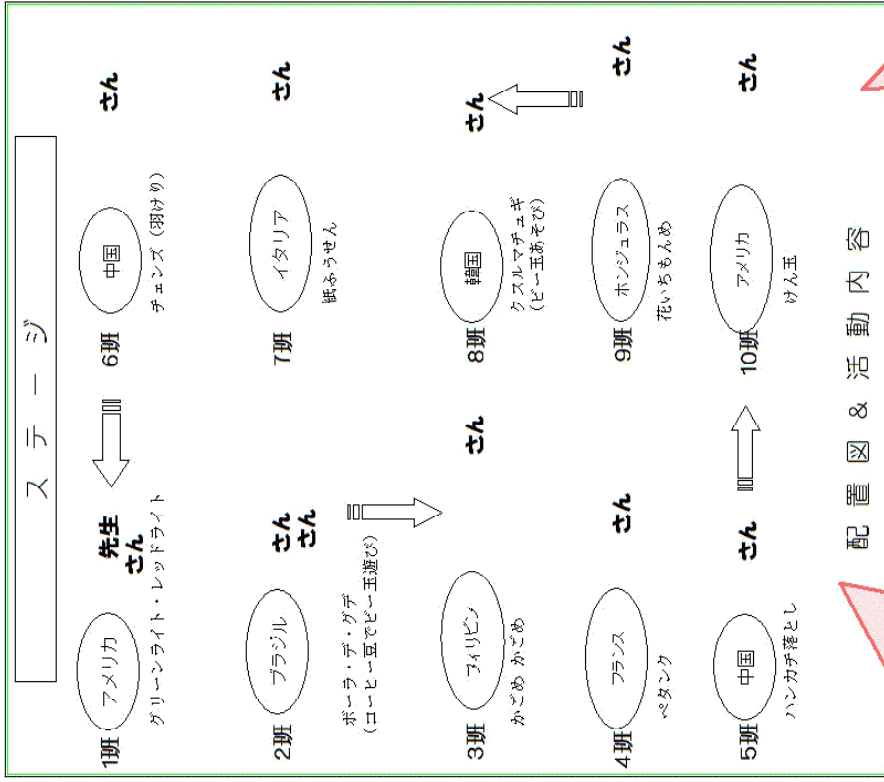
5 係

講師招聘	校内掲示
受付	名札
接待	一斉下校
駐車場	式次第
給食	国旗
お礼状	進行
朝会、交通費等準備	歓迎ポスター
金庫設置	お迎え
タクトの手配	お見送り
ゲームの準備	看板
写真	タイマー
ビデオ	はじめの言葉など

ゲストの依頼に2ヶ月前くらいから取りかかる必要があります。係については、事前に調整をお願いします。

どの学年に、どのゲストの方に入っていただくかは、あらかじめ決めておきます。

## 6 会場見取り図(体育館)



## 配置図 & 活動内容



各国の国旗とゲームの準備をしておきます。ゲストの方の話の内容によって、長机・椅子・パソコン・プロジェクター・ついたて等の必要があります。事前に準備物を聞いて用意をお願いします。

余裕があれば、一緒に遊んでください。遊び方と道具は、各コーナーに準備しておきます。時間が采たら移動していただきます。先生方も、まわる国の遊びをあらかじめ読んでおいていただきます。活動がスムーズに行えます。